

# 令和7年度 学生の中退学者・休学者数の調査結果について

## 調査概要

- ◆ 調査対象：全国の国公立大学、短期大学、大学院及び高等専門学校（回答率91.3%）
- ◆ 調査趣旨：各大学等の正規生における中途退学者・休学者の状況等について調査するもの。
- ◆ 対象期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

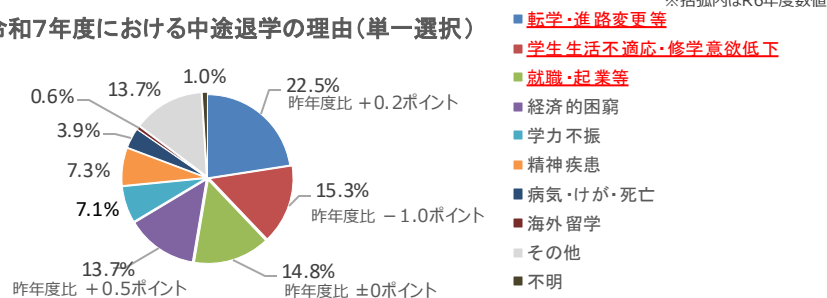
## 1. 中途退学者の状況

- 中退者数の割合は、**令和6年度と比べてすべての学校種で減少**した。
- 主な中退理由は「**転学・進路変更等**」「**学生生活不適応・修学意欲低下**」「**就職・起業等**」であり、傾向にあまり変化は見られなかった。

令和7年度における学校種別中退者数及び中退者割合

| 学校種              | 学生数に占める中退者数の割合       | 中退者数    |
|------------------|----------------------|---------|
| 大学               | <b>1.97%</b> (2.00%) | 51,029人 |
| 短期大学             | <b>3.82%</b> (3.95%) | 2,421人  |
| 大学院              | <b>2.42%</b> (2.67%) | 6,652人  |
| 修士課程・<br>専門職学位課程 | <b>2.22%</b> (2.38%) | 4,333人  |
| 博士課程             | <b>2.94%</b> (3.40%) | 2,319人  |
| 高等専門学校           | <b>1.92%</b> (2.08%) | 1,035人  |
| 合計               | <b>2.05%</b> (2.10%) | 61,137人 |

令和7年度における中途退学の理由（単一選択）



※複合的な理由による中退の場合には、もっとも中心的な理由に分類。

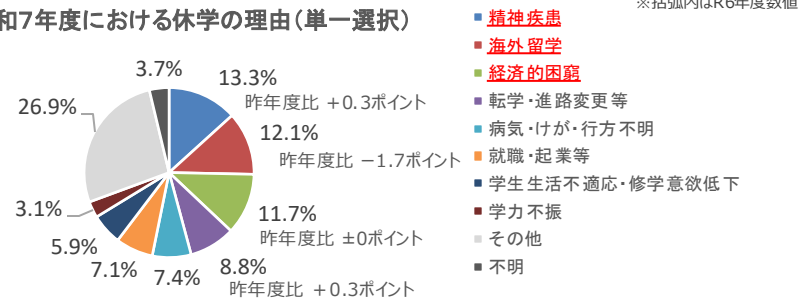
## 2. 休学者の状況

- 休学者数の割合は、**令和6年度と比べてすべての学校種で減少**した。
- 主な休学理由は「**精神疾患**」「**海外留学**」「**経済的困窮**」であり、傾向にあまり変化は見られなかった。

令和7年度における学校種別休学者数及び休学者割合

| 学校種              | 学生数に占める休学者数の割合         | 休学者数    |
|------------------|------------------------|---------|
| 大学               | <b>2.57%</b> (2.70%)   | 66,634人 |
| 短期大学             | <b>2.03%</b> (2.23%)   | 1,287人  |
| 大学院              | <b>5.52%</b> (5.86%)   | 15,139人 |
| 修士課程・<br>専門職学位課程 | <b>3.41%</b> (3.68%)   | 6,658人  |
| 博士課程             | <b>10.74%</b> (11.31%) | 8,481人  |
| 高等専門学校           | <b>1.38%</b> (1.53%)   | 747人    |
| 合計               | <b>2.81%</b> (2.95%)   | 83,807人 |

令和7年度における休学の理由（単一選択）



※複合的な理由による休学の場合には、もっとも中心的な理由に分類。

※修士課程については、博士前期課程の学生を含む。博士課程については、博士後期課程、医歯学、薬学、獣医学関係の4年一貫制課程の学生を含む。高等専門学校については、1年～3年生の学生を含む。  
 ※いずれの学校種においても、留学生及び別科・専攻科を含み、通信制課程の在籍者を含まない。中退退学者には博士課程満期退学者を含まない。  
 ※「学生数に占める中退者数・休学者数の割合」については、本調査結果における令和7年4月1日時点の学生数に対する割合を算出したもの。